

がんセンターたより

「 当院では 新型コロナウイルス感染対策を継続しています 」

社会生活に大きく影響を与えている新型コロナウイルス感染症は、医療機関の在り方にも大きな影響を与えています。国内での感染状況は、3月から5月の第1波、7月からの第2波は8月にピークを迎えたと思われませんが、現在も連日の新規感染者数のニュースが続き、収束が見えない状況にあります。今後、冬に向けてインフルエンザの流行が始まる時期になることから、引き続き新型コロナウイルス感染対策の強化を継続していく予定です。当院は、免疫力の低い方が多く、新型コロナウイルス感染から患者さんを守るため、ご不便をおかけいたしますが、引き続き当院の感染対策にご協力いただけますようお願いいたします。

(現在の感染対策については当院のホームページ (<http://kcch.kanagawapho.jp/>) をご参照ください。)

新型コロナウイルス拡大に伴う、医療資材(マスク、ガウン、グローブ、フェースシールドなど)の供給不足により、当院の在庫も一時厳しい時期がありましたが、多くの方々から心温まるご支援をいただき、通常の診療を行うことができています。この場を借りて心からお礼申し上げます。



(感染制御室一同)

緩和ケア週間

10月5日～10月9日、緩和ケアの普及啓発を目的に「緩和ケア週間」を開催いたしました。緩和ケアをより知っていただきたいという思いを込めて、緩和ケアやACP(アドバンス・ケア・プランニング)のポスター掲示を行いました。また、患者さんご家族の気持ちが和むよう、職員が心を込めて手作りした、ペーパーフラワーやペーパーチェーンで装飾いたしました。また、病院職員から患者さんへの応援メッセージには、「とてもうれしい気持ちで読みました」とのお声をいただきました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、毎年好評のハンドマッサージや、様々な対面相談、リハビリ体験などはすべて中止とさせていただきましたが、来年は、緩和ケア週間のイベントが開催できることを願っています。

(緩和ケアセンター ジェネラルマネージャー 舛田佳子)



令和元年度😊患者満足度調査の結果をご報告いたします。

令和元年10～11月に、患者さんへの満足度調査を実施いたしました。

入院患者さんには、10月28日(月)～11月18日(金)の2週間で、600名の方にアンケート調査票を配布し332名の方から、外来患者さんには、10月30日(水)及び11月6日(水)の2日間で、1,000名の方にアンケート調査票を配布し、956名の方から回答をいただきました。

病院全体の評価は、昨年同様、入院が外来より満足度が高い結果となっておりますが、入院は昨年度と比較すると満足度が下がっています。

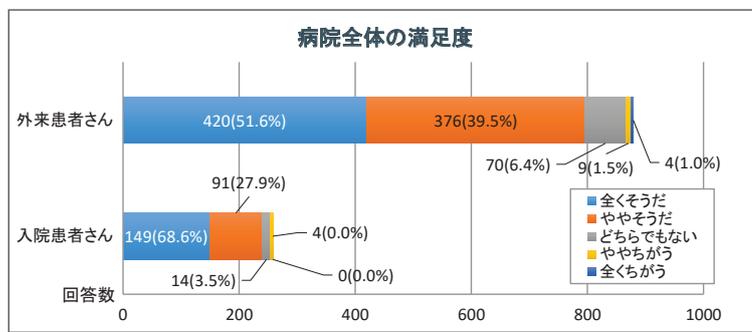
調査項目別では、検査、入院中の具体的な治療、診療や医療スタッフについては概ね満足をいただきました。会計については、待ち時間改善の取組みにより、昨年度より満足度が上がりましたが、改善すべき点のご指摘もいただきました。

アンケート調査の結果は、今後のより良い病院運営に活かしてまいります。病院アンケート調査にご協力をいただいた患者さん、ご家族の皆様にお礼申し上げます。

1 病院全体の満足度

「全体としてこの病院に満足している」の設問に、「全くそうだ」、「ややそうだ」と回答した割合は、外来患者さんが87.2%、入院患者さんが92.3%と高い結果となりました。

※回答数は、アンケート調査票を配布し、有効な回答として回収した数。



2 病院全体の評価満足度 [最大値：10 点] ※ () 内の数値は前回調査との差異

病院全体の評価	外来	入院
病院に満足している	6.8(△0.2)	7.5(△0.5)
病院を信頼している	7.1(△0.1)	7.5(△0.4)
家族、知人に勧めたい	6.3(△0.2)	7.2(△0.6)
医療サービスを高めるために、努力し向上している	6.2(△0.2)	7.4(△0.3)

3 項目別満足度 [最大値：10 点] ※ () 内の数値は前回調査との差異

項目	満足度
外来	
診察前(紹介、待ち時間、待合室環境)	5.4(0.0)
診察や医療スタッフ(医師の診察、看護師の説明・処置)	6.3(0.0)
検査(尿検査、血液検査、CT、MRI、レントゲン、処置・説明)	7.3(0.0)
施設・設備・情報提供(診察室、院内設備、がん相談、情報提供)	5.9(0.0)
会計(順番が公平・長く待つ、請求書、職員対応、自動清算機)	4.4(+0.3)
総合評価(病院全体)	6.5(△0.1)
入院	
入院時の説明等(医師説明、入院手続き、入院中生活説明)	6.4(△0.3)
入院中の診療や医療スタッフ(医師の説明・診療、看護師の説明・処置、介助等)	7.3(△0.4)
入院中の具体的な治療(検査、薬剤師・栄養士の説明・指導、手術、リハビリ)	7.5(△0.2)
施設・設備・情報提供(トイレ・浴室、病室内環境、エレベーター・階段、食事、がん相談等)	6.5(△0.4)
退院(退院説明、会計)	6.0(△0.4)
総合評価(院内仕組み、病院全体)	7.5(+0.4)

※満足度の考え方

各設問の回答項目「まったくそうだ」、「ややそうだ」、「どちらでもない」、「ややちがう」、「まったくちがう」の回答者数に対し、それぞれ10点、5点、0点、-5点、-10点を掛け、満足度を回答数で割った平均の数値。

診療科紹介

呼吸器グループ

呼吸器内科 部長 齋藤春洋
呼吸器外科 部長 伊藤宏之

呼吸器内科、呼吸器外科、放射線治療科、病理診断科が一体となって、肺縦隔悪性腫瘍の診療に取り組んでいます。

肺がんはがん死因のトップですが、最近の診療の進歩には目覚ましいものがあります。超音波内視鏡、PET、高分解能CT検査により診断精度が格段に向上しました。治療面では完全胸腔鏡による低侵襲化、肺を温存する区域切除、気管支血管形成、定位放射線や重粒子線治療といった局所治療が注目されています。薬物治療では、がん化やがんの増殖にかかわる遺伝子変異を標的にした分子標的薬の開発で個別化医療が進んでいます。免疫チェックポイント阻害薬も含め薬物治療が大きく進歩してきており、難治性であった肺がんの長期生存が期待できるようになってきました。数多くの新規薬剤、治療法開発にも携わり、複数の企業治験や医師主導治験にも積極的に参加しています。わたしたちは、患者さんに最善の肺がん診療を提供できる専門家集団でありたいと、日々研鑽しています。



乳腺内分泌外科(乳腺)

乳腺内分泌外科 部長 山下年成

乳癌の診断と手術、術後薬物治療、再発された患者さんの薬物治療、外来での緩和治療などを行っています。乳癌検診や良性疾患の定期的なフォローアップは行っておらず、今後は術後フォローもクリニックとの病診連携を推進して当院の使命である急性期に特化していきます。

診療科内で誰が担当になっても同じ医療が受けられるように術前カンファや術後・再発カンファや入院患者カンファを毎週行っています。乳腺では、他職種との連携も進んでいます。当院は乳癌認定ナースが3人在籍しており患者サポートや診療の補助になってくれています。

臨床研究に関しては多くの治験、医師主導治験、臨床試験に参加しています。企業治験も急増しています。グローバル治験にも多く参加して貢献度が高かったため去年はアメリカのFDAとヨーロッパのEMA (European Medicines Agency) の2つの国際的な機関から同時期に査察を受ける機会を得ました。当院が査察をパスすることにより新薬の承認に結びつきました。今後とも神奈川県立がんセンターとして行うべきことに注力していく所存です。今後ともご理解、ご支援をお願いします。



「血液がんフォーラム」動画公開のお知らせ

認定 NPO 法人がんセンターネットワークジャパン主催（神奈川県や当院などが共催）の「血液がんフォーラム 2020」が 8 月末に開催されました。7 月に当センターで開催予定でしたが、コロナ禍のためオンラインとなりました。当院のスタッフ 5 名も講演しています。フリーアナウンサーの笠井信輔さん（悪性リンパ腫患者）と金森病院長とのトークセッションもあります。当日の講演動画が公開されていますので、興味のある方はご覧ください。

<https://event.cancernet.jp/blood/>

または **オンライン血液がんフォーラム** で

検索

あゆみ園イベント



みんなで七夕制作

最初は、子どもたちと一緒にどんな作品にするのか考える”ことから始め、「七夕の空って？天の川は何時に見えるの？夜なら真っ黒だよ？でも空は青いよね？」いろいろな七夕に関する子どもたちのイメージが湧き、話し合いが行われました。

話し合いの中で、夜と日中の空の色合いがどちらも譲れず、最終的には、黒と空色を混ぜることに決定！

作品制作では、積極的に関わる子や、先生やお友だちと一緒に作ったりする子、その様子を見ている子など、様々でした。



みんなで野菜スタンプ

見る 種まきから見てきた野菜、毎日少しずつ大きくなる様子に興味津々でした。収穫後、切った野菜の断面も見て驚きの子どもたちです。

触る 種、葉、茎、実に触れ、様々な感触を楽しみました。野菜を切ると、また種がでてきたり、汁が出てきたりと発見が！

嗅ぐ 生の野菜のいい匂い♪残念ながら食べることはできませんが、「食べた〜い」と期待の膨らむ匂いようです。



食育を兼ねた導入の野菜カード。名前を言って指をさしたり、食べる真似をしたり...



「いい匂い」「でこぼこ」「変な形」と様々な発見をしながら、スタンプをしました



コロナの関係で収穫した野菜は食べられませんが、おまごにも使っています

新任医師の紹介

職員の異動がありましたので、ご紹介いたします。よろしくお願ひします。



消化器内科 (肝胆臓)
医長 手塚 瞬



血液・腫瘍内科 (腫瘍)
医師 徳永 真由美



呼吸器外科
医師 菊池 章友

編集後記

コロナ禍の中で新総理が誕生し、Go To ○○など話題の多い一年ですが、早くも 11 月になりました。学会、研究会、集合研修等が Web 開催になり、がんセンターたよりの内容もシンプルになりました。これからインフルエンザの流行期に入るため、当院でも玄関にサーモグラフィーを設置し、発熱患者の診察室も整備しました。また、無料 Wi-Fi のアクセスポイントも増設し、with コロナの時代に対応した病院環境を整備中です。患者さんにはご不便をおかけすることもあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

(病院長 金森 平和)